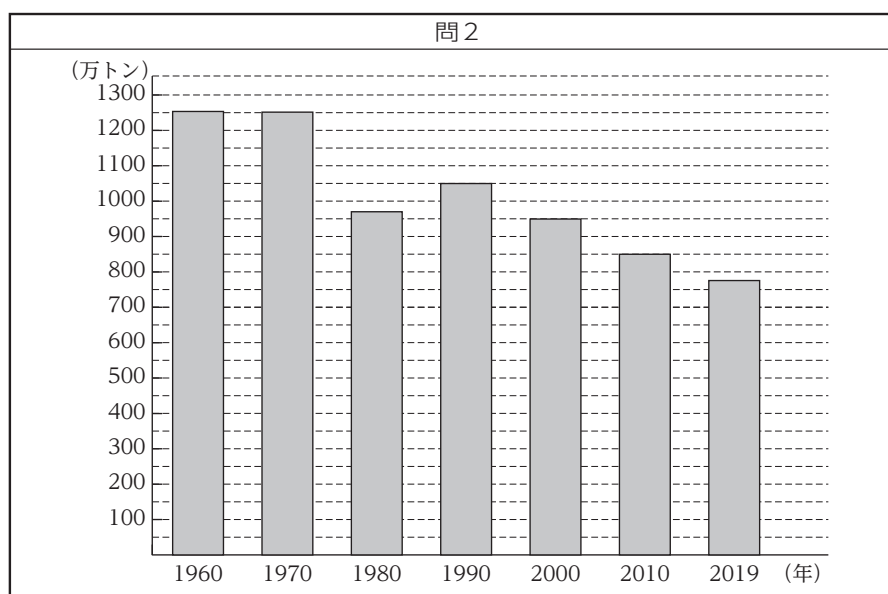


小学5年 思考力テスト — 解答と解説

1

問1							
ア	○	イ	×	ウ	×	エ	×
	21		22		23		24



25

問3									
ア	○	イ	×	ウ	○	エ	×	オ	×
	26		27		28		29		30

(例)	問4									
	距離が長くなると、輸送する機関から発生する二酸化炭素の量が増加するという問題。									

31

(例)																				問5（農家の立場から）									
地	域	の	消	費	者	が	ど	の	よ	う	な	農	作	物	を	望	ん	で	い										
る	の	か	を	的	確	に	と	ら	え	る	こ	と	が	で	き	る	。												

32

(例) 問5（消費者の立場から）									
自	分	で	生	産	状	況	を	確	認
す	る	こ	と	が	で	き	、	安	心
し	て	農	作	物	を	購	入	す	る
こ	と	が	で	き	る	。			

2

問1	問2
13 cm	12816 cm ²

問3
$(1+2) \times 3 \times 4 = 36$

(例) 問4	
A	アルミ缶の方がスチール缶より軽いので、たくさん運ぶことができるから。
B	アルミ缶の方がスチール缶より熱を伝えやすく、冷やしたり温めたりしやすいから。

(例)	問5
電気をよく通す。	値段が安い。

(配点)

- ① 問1 ……各4点×4=16点
 ① 問2、② 問3、問4 ……各6点×4=24点
 ① 問3 ……各3点×5=15点
 ① 問4 ……7点
 ① 問5 ……各9点×2=18点
 ② 問1、問2、問5 ……各5点×4=20点
 計100点

【解 説】

①

問1 B1 情報を獲得する 比較

ア：食料自給率^{じきゅうりつ}の最も高いオーストラリアは200%、最も低い日本は37%ですので、 $200 \div 37 = 5.405 \cdots$ より、5.4倍となります。

イ：小麦と肉類^{るい}の自給率は日本以外にイギリスも100%に達していません。

ウ：6か国の品目別平均自給率は、米が67%、小麦が163.5%、大豆が54.8%、野菜類が68.7%、肉類が99.5%です。

エ：日本の食料自給率は1960年が79%でしたので、約42%減少^{げんしゅう}していますが、【資料1】には1960年の食料自給率は書かれていません。ですので、自給率^{うつ}の移り変わりも読み取ることはできません。

問2 B1 情報を獲得する 置き換え

たて軸が収かく量、横軸が年を表していることを確認^{かくにん}してグラフをていねいに書きましょう。解答参照。

問3 B1 特徴的な部分に注目する 推論

ア：こうすることで食品^{ちようふく}を重複^{こうにゅう}して購入することの防止につながり、食品ロスを減少させることにつながります。

イ：一般的^{いっぱんでき}に日付の早いものが前^{なら}に並べられているため、消費者^{おく}が奥から購入してしまうと前に置かれている商品が売れ残り、食品ロスを増加させると考えられます。

ウ：この行動は【資料3】の過剰除去^{かじょうじょきよ}を減らすことにつながります。

エ：多めに料理^{たの}を頼むと食べきれなくて残す可能性が生まれ、食品ロスにつながります。

オ：この行動は期限切れ^{きげん}の食品^{はいきりょう}の廃棄量を増やすことにつながります。

問4 B1 情報を獲得する 推論 具体・抽象

食料を輸送する機関としては、自動車、鉄道、飛行機^{せんばく}、船舶^{せんぱく}がありますが、どの輸送機関も二酸化炭素^{にさんかたんそ}を排出^{はい}します。距離^{しよつ}が長くなれば二酸化炭素の排出量も増加し、結果的に地球温暖化^{ちきゅうおんだん}を促進^かすることになります。この問題では、①考えられる問題点^{かふぞく}が書かれているかどうか、②①に過不足がなく、文章の整合性^{せいこうせい}に誤り^{あやま}がないかどうか、③表記や表現に誤りがないかどうかを中心にしています。

問5 C1 情報を獲得する 推論 具体・抽象

あなたが考える地産地消のよい点を、農家の立場と消費者の立場からまとめます。「地産地消」とは、地域^{ちいき}でとれた農作物などをその地域で消費することです。農家の立場からは「消費者がどのような農作物を望むかわかる」、消費者の立場からは「同じ農作物をより安く手に入れられる」「生産状況^{しんせん}が見えやすくなるため安心できる」「新鮮な農作物を手に入れられる」、といった利点が考えられます。この問題では、それぞれ①地産地消のよい点が具体的に書かれているかどうか、②①に過不足がなく、文章の整合性^{せいこうせい}に誤り^{あやま}がないかどうか、③まず目の使い方が正しいかどうか、④表現や表記に誤りがないかどうか、⑤字数制限を満たしているかどうかを中心にしています。（ただし、20字以上30字未満の解答については①②のみ採点対象とし、③～⑤は採点対象としません。また、20字に満たない解答は①～⑤すべて採点対象としません。）

②

問1 **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 調べる

次の表のように、正方形の辺の長さは、前の正方形の辺の長さの和になり、長方形の長い方の辺の長さは、前の正方形の辺の長さ^{きそく}と次の正方形の辺の長さの和になる規則があります。

したがって、6回目につくった正方形の辺の長さは、13cm

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正方形の辺の長さ (cm)	1	2	3	5	8	13	21	34	55	89
長方形の長い辺の長さ (cm)	2	3	5	8	13	21	34	55	89	144

問2 **B2** 調べる 順序立てて筋道をとらえる

問1の表より、10回目にできる大きな長方形の辺の長さは、89cmと144cmだから、面積は、 $89 \times 144 = 12816 (\text{cm}^2)$

問3 **B1** 情報を獲得する 調べる 特定の状況を仮定する

わり算と引き算は数が小さくなるので使いません。1はかけても数が変わらないので、たして使います。調べていくと、 $(1+2) \times 3 \times 4 = 36$ が最大になります。このとき、3と4はたし算にするよりもかけ算の方が $3+4=7$ 、 $3 \times 4=12$ だから、大きくなることがわかります。つまり、1以外はすべてかけ算を使います。 $(1+3) \times 2 \times 4 = 32$ 、 $(1+4) \times 2 \times 3 = 30$ なので条件に合いません。また、かつこの中が3つになる場合は、 $(1+2 \times 3) \times 4 = 28$ になり、ほかの数でも28より大きくなりません。したがって、 $(1+2) \times 3 \times 4 = 36$

問4 **B2** 情報を獲得する 比較 推論 具体・抽象

A たくさん運ぶためには、できるだけ軽い方が運びやすいので、アルミ缶^{かん}の方がたくさん運べることがわかります。（トラックなどは重量制限があります）

B 自動販売機^{じどうはんばいき}では、冷たいものと温かいものがあるので、熱が伝わりやすいアルミ缶^{かん}の方が適^{てき}しています。熱が伝わりやすいと、電気代が安くなると言われています。

この問題では、それぞれ①アルミ缶の方がすぐれている点について書かれているかどうか、②①に過不足^{かふそく}がなく、文章の整合性^{せいこうせい}に誤りがないかどうか、③表記^{ひょうぎ}や表現^{ひょうげん}に誤りがないかどうかを中心にしています。

問5 **B1** 情報を獲得する 比較 推論 具体・抽象

電気を通しやすい金属は、銀が1番で、2番目は銅ですが、銀は値段^{ねだん}が高いので、銅の方が大量に作るのに適^{てき}しています。この問題では、それぞれ①銅が導線に使用される理由が書かれているかどうか、②①に過不足^{かふそく}がなく、表記^{ひょうぎ}や表現^{ひょうげん}に誤りがないかどうかを中心にしています。